

ソフトウェア開発・保守支援のためのリポジトリマイニング環境の開発

研究の概要

リポジトリマイニングとは、蓄積されたビッグデータ（過去の開発履歴データ）からソフトウェア開発に有用な知見を導き出すための技術です。大手ITベンダでは、ビッグデータ時代のソフトウェア開発・保守支援技術としてすでに活用を始めています。

これまで多種多様な手法が提案されており、プログラミング、テスト、保守、プロジェクト管理など、様々な目的で利用することができます。その一方で、様々な種類の手法と応用領域の広さから、技術選択に迷う実務者も少なくありません。

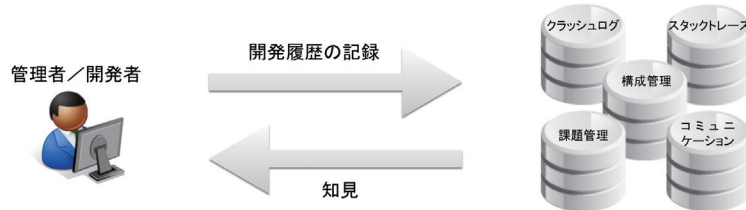


図1
ソフトウェアリポジトリマイニングの概要

研究の特徴

本研究では、我々が現在構築を進めているリポジトリマイニング環境に、実務者のニーズを反映したリポジトリマイニング手法をプラグインとして実装します。これまで、8種類のプラグインの実装が完了しており、Webインタフェースを通じて「気軽に試す」ことができます。プラグインを充実させることで、実務者個々のニーズを満たすためだけでなく、産業界全体で必要とするリポジトリマイニング手法の集合体を構築し、ソフトウェア開発の生産性・品質向上のためのプラットフォームとすることを目指します。

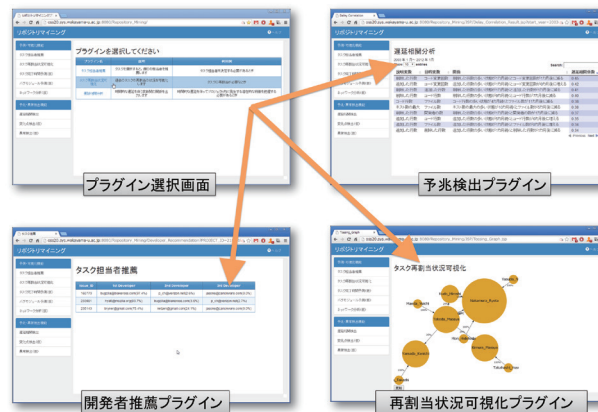


図2
リポジトリマイニング環境

実用化が想定される分野

ソフトウェア保守、プロジェクト管理、品質改善

研究者からのメッセージ

本研究グループでは、実務者のニーズを踏まえたリポジトリマイニング技術の構築が重要と考えております。共同研究や技術相談の要望がございましたらどうぞお気軽にお声掛けください。

研究分野：ソフトウェア工学

研究者の所属部局・職位・氏名：和歌山大学システム工学部 情報学領域・教授・大平雅雄

本件に関するお問い合わせ：liaison@ml.wakayama-u.ac.jp